

4年後へ「強くなりたい」



トークショーで五輪の戦いを振り返る中村選手と武富監督

北京五輪女子マラソン完走

中村選手が胸中吐露

岡山でトークショー

8月の北京五輪女子マラソンに出場した中村友梨香選手(天満屋)が10日、岡山市内で開かれたトークショー(おかやま適塾主催)に武富監督とともに出席し、「自分の力を出し切れなかった。悔いが残る」と13位に終わった初の五輪を振り返るとともに、4年後のロンドン五輪出場に意欲を見せた。

日本選手としてただ一人完走した中村選手は「ゴールの瞬間はほっとしたが、徐々に悔しさが増した」と心境を吐露。初の世界舞台に「体調は良かったが、周囲は有名選手ばかり。遅

れてはいけないという気持ちで先に立ち勝負する勇気を持てなかったと語った。

その一方で「フィジカル面など自分に足りない点も分かった。4年後に再挑戦できるよう、少しずつ強くなりたい」と力強く決意を述べた。

武富監督も「今回は力を十分発揮できなかったが、4年後はこの経験を生かしてほしい」とエールを送った。

聴衆約80人との質疑応答もあり、「レース中はどうなことを考えているのか」といった質問に、中村選手は「ひたすら集中しています」などこ笑顔で応えていた。